

未来へつなぐ友好の架け橋

タイラー市との姉妹都市提携は、今年30周年を迎えます



市制施行25周年を記念して、平成4年に始まったアメリカ合衆国テキサス州タイラー市との姉妹都市交流。両市民が架け橋となり続いてきた交流は、市制施行55周年の今年、30周年を迎えます。これからますます多文化への理解が必要となっていく中、より多くの人たちに国際交流の輪を広げ、平和な未来へとつなげていきます。[お問い合わせはシティプロモーション課 421-6703へ]

タイラー市からの熱意あるアプローチ

八千代市とタイラー市は、交流を通じて、両市民の相互理解と友好親善を深め、あわせて両市の繁栄と世界の平和に寄与することを念願し、姉妹都市提携を結びました。

提携に致るまでには、タイラー市からの熱意あるアプローチがありました。平成元年、八千代市は市制施行25周年記念事業の一つとして、海外都市との姉妹都市提携を行うことを決めました。八千代市国際交流推進懇談会により、16ヵ国86都市からアメリカのテキサス州タイラー市とメリーランド州コロンビア市が候補に選考されました。平成2年9月、タイラー姉妹都市委員会から提携を希望する書簡を国際親善都市連盟を通じていただきました。平成3年1月には、当時のテキサス大学タイラー校学長のジョージ・F・ハム夫妻が、タイラー市長からの正式な申入れ書簡を携えて本市を訪問しました。

このような熱意あるアプローチに加え全

米最大級のタイラーローズガーデンで毎年ローズフェスティバルを開催するなど八千代市と同じくバラを大切なシンボルにしていることや、豊かな自然があるという共通点から、タイラー市との提携を決め、平成4年5月16日にタイラー市のローズガーデン、同年8月23日に八千代市の市民会館で調印式が行われ、交流がスタートしました。

文化、スポーツ、音楽 さまざまな交流が

提携以来、両市は20回の親善訪問を行い、親交を深めてきました。その交流は、市内の中学校への外国語指導助手(ALT)の派遣や、文化、スポーツ、音楽などさまざまな分野にわたります。

平成20年に訪問した際には、長年の交流を称え、タイラー市と同市議会は、八千代市の訪問団が訪れた「10月16日」を、「八千代の日」と決定したことを発表しました。20周年となる平成24年には、八千代市から初めて市内在住の高校生をタイラー市へ派遣し、テキサス大学タイラー校やグレース・



広告